

令和3年度
自己評価・学校関係者評価（島田北幼稚園）

教育目標	こころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける（人間形成の基礎）
------	---

※自己評価は4段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	2	B	B	比較的高い自己評価で、特に教育目標に即した具体的な指導項目については、高評価です。一方、その他の指導における教育目標の捉え方に、個人的なばらつきがあるようです。教育目標に即した具体的な指導を心掛けるよう期待します。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	4			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	3			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	C	C	教育計画立案に際し、やや戸惑いが感じられます。過去の計画にとらわれず、保護者ニーズを適切に捉え、新鮮な計画を試みてはとを考えます。新人ベテランを問わず、自らの考えを盛り込んだ計画立案が求められています。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	2			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	2			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	2			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	2			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	コロナ禍での活動が長く続くなか、工夫した活動が行われています。特に、コロナ禍の環境を繁栄し、生活習慣を中心に指導が進んでいます。準備を十分に行い、効果的な教育活動に努めるよう期待します。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	2			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	B	A	コロナウイルス感染防止対策をはじめ、基本的な生活習慣上必要な指導は十分実施され、安全な施設運営が行われています。具体的な安全対策は毎日の生活で習慣化し定着しました。今後は、その他の安全対策意識を共有し、一層の安全対策に努めるよう求めます。事故対策についても再考したい。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	3			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	2			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	4	B	B	一人一人の状況の状況を把握した、コミュニケーションに努める姿が見えます。クラス担任としての責任を意識し、遊びを中心に積極的に関わる姿勢は評価出来ます。教師としての品格を高め、感謝される仕事に邁進されたい。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	3			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	3			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	2	C	C	コロナ禍での外部研修参加には制約があり、積極的な参加は見られません。リモートによる研修参加はありましたが、積極的な意欲ある参加には達していません。今後の研修についての参加方法や内容について検討し、効果ある研修を行いたい。
研修に参加するのは楽しい。	2			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	2			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	C	C	コロナ禍での地域への活動参加は限定的で積極的の観点では、不十分です。こうした環境下での関わり方について考える機会だと思えます。一方、クラスを中心とする保護者との関わりについては、努力し意識的に関わる機会を模索しています。園を代表する意識は高いと思えます。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	3			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	2			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	3			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	令和4年度より子ども子育て支援法に基づく、「施設型給付幼稚園」への移行に伴い、新たな体制づくりが求められます。当園の教育活動が地域社会の要望に応えることで認められるよう期待します。
島田南学園（組織）の一員として協働することができた。	3			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマンネリ化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	2			

令和4年3月26日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に3月16日に評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会
委員長 町 淳子

